

第112回 1月のまちづくり学習会

社会を教室とする学び

—熊本高専八代・建築社会デザイン工学科で取り組んできたこと—

社会を教室とすることにより、学生は地域社会の現実の複雑な問題に出会い、地域住民、行政職員、専門家、教員等と議論しながら解決策を練る。社会の中では学生は教師から知識を学ぶのではなく、社会から学び取るのであり、教師も学生と共に学ぶ。10年以上にわたり取り組んできたこれらの実践事例を紹介する。

話題提供 熊本高等専門学校 特命客員教授 磯田節子 先生

日時 2016年1月28日(木)
18:30~20:00

場所 まちなか工房

熊本市中央区南坪井町 1-5
上通並木坂サンコスメディオビル 2階

まちづくり学習会について

まちなか工房では月に一度、中心市街地関係者や市民を対象に『まちづくり学習会』を開催しています。県内外から専門家や実務経験者を招いて講演を開き、中心市街地活性化策についてさまざまな意見交換をしています。学習会終了後には、講師の方を囲みワンコイン懇親会も行っています。まちづくり学習会の御案内をe-mailまたはFAXにて差し上げますので、御希望の方はまちなか工房まで。



111 回学習会の様子



入場
無料

過去の学習会

- 111 回 「再開発を街に組み込むー熊本市中心部(桜町・花畑周辺地区)を対象にー」 工学部3年生、田中尚人先生、星野裕司先生
- 110 回 「世界遺産と九州のヘリテージ」 (株)文化財保存計画協会 代表取締役 矢野和之氏
- 三都市シンポジウム2015 in 熊本 テーマ【水辺とまちづくり】 主催:まちなか工房+すきたい熊本協議会@現代美術館アートロフト
- 109 回 「公共交通を基軸としたコンパクトなまちづくり」 熊本市都市建設局 交通政策総室 三島雅樹氏
- 108 回 「ミズベリング白川74の取り組みについて」 国土交通省熊本河川国道事務所 調査第一課長 牟田弘幸氏
- 107 回 「甲斐青葙(かいせいひょう)の絵に見る明治期熊本の町並み」 熊本大学大学院自然科学研究科教授 伊藤重剛

共催:文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「減災型地域社会のリーダー養成プログラム」

お問い合わせ
まちなか工房 下田・岡村
e-mail:machi-kobo@cotton.ocn.ne.jp
tel/fax:096-326-9502